

令和6年度 第2回 野々市市子ども・子育て会議
会議録（要旨）

日 時：令和6年10月7日（月）
午後7時～
場 所：市役所2階201会議室

1 出席委員 全体会議 17人（欠席1人）

2 配布資料

資料1 野々市市子ども計画策定に関するアンケート調査結果について

資料2 野々市市子ども計画（案）について

資料3 児童手当制度について

資料4 令和6年度子ども・子育て会議スケジュール

3 会議録

◎ 全体会議

1 開会

会議の成立を報告

2 部長挨拶

健康福祉部長挨拶

3 議事

1. 野々市市子ども計画策定に関するアンケート調査結果について

説明【事務局】 資料1に基づき説明

【委員】

計画策定に係る市民の意識調査、大変な調査だったかと思いますが、これからの施策をうまくまとめていくにあたっての基礎となる調査ですので、うまく活用していければと思います。これがうまく市政に生きていくということがとても大事なと改めて思っています。この結果を受け止めて、野々市の生活の豊かさのようなお話をいただきました。野々市市というところはなかなか市として落ち着いた、学歴等についても高い方が集まっている市なのだなということを全体を通して感じております。しかし、そうではない方もたくさんいらっしゃることは、結果として現れていますので、この辺りをうまく計画に盛り込んで

いかなければと思っています。今回のアンケート調査の調査件数と回収率はどのようなになっているのか教えていただければと思います。

説明【事務局】

子育て支援に関するアンケートの就学前保護者については約 1,000 人を対象として 465 件の回収、小学生保護者についても約 1,000 人を対象として 728 人の回答でした。生活実態調査の小学 5 年生については、約 550 人を対象として 525 人、中学 2 年生については約 500 人を対象として 400 人の回答でした。保護者対象の生活実態調査については、約 1,050 人を対象として 368 人、野々市市の若者の意識と生活に関する調査については無作為抽出で約 1,000 人に調査をお願いし、224 人にご協力をいただきました。

2. 野々市市こども計画（案）について

説明【事務局】 資料 2 に基づき説明

【委員】

今後のスケジュールとして、私たちが計画案を見せていただくのは次の 1 月の会議ということになるのでしょうか。1 月までに計画案を一度見せていただけるのかどうかなど、次の会議までのスケジュールを教えてくださいませんか。

説明【事務局】

本日の会議で体系案について皆さまに協議いただき、この案で進めることについて了承いただけたら、この体系に沿って、今後、計画案の策定を進めさせていただき、次の 1 月の会議でお示ししたいと考えています。

【委員】

第 3 期で新たな事業を加えるばかりでは難しいと思いますので、第 1 期、第 2 期までの取り組みで評価された部分がどこで、それをどう残し、不要な部分があれば除くことも必要かと思っています。今後の計画策定は大変な作業かと思いますが頑張ってくださいと思います。

説明【事務局】

第 2 期の評価については、次の会議で最後の実績見込みまで含めたものをお示しできればと思います。

【委員】

第 3 期の計画の体系案として、基本方針を 6 つとするというのは、この形がいいのだろうと思い、私はおおむねこれでよいかと思っています。細かく見ていくと、施策の立案にあたり、市がすでに持っている施策をうまく取り込んでいきたいということを書いていただいています。これは大切なことになりますので、具体的にこのようなものを取り込んでいく予定だということがあれば、教えてください。保健・健康面では、胎生期にある子どもから 39 歳までのライフステージに共通する施策が扱いやすい分野であろうと思っています。

す。すでにある施策で取り組んでいきたいもの、特に若者についての施策がありましたら教えてください。また、第1期で市が持っている施策について、担当の方が洗い出しをされていますので、第1期の書類をもう一度開いていただき、当時から関連施策は変化しているかと思いますが、関連施策として残っているものもあると思いますので、第1期で洗い出した施策についてはもう一度確認していただければと思います。そして、私も委員としてこの会議に出席させていただいていますが、若者という立場からの意見をいただくには、若者の委員を1人くらい追加していただくことができるのかどうかについてお伺いできればと思います。

説明【事務局】

第1期の時の施策に用いた関連事業の取りまとめについても改めて確認してはということについては、この場に当時の職員がおりませんので改めて確認をして、活用できるものは活用したいと思います。若い委員を追加することについては、今後、若者のご意見をお聞きしていかなければいけないということもあり、この会議の委員として出ていただくということについては検討していきたいと思います。

4 報告

1. 児童手当制度について

説明【事務局】 資料3に基づき説明

《質疑なし》

2. 市立保育園大規模改修について

説明【事務局】 市立保育園大規模改修について説明

- ・ 野々市市公共施設個別施設計画に基づき、中央保育園を除く市立保育園3園について順次、大規模改修を行い、施設の長寿命化を図っていく。
- ・ 富奥保育園については、改修工事の実施設計を行っており、現園舎で保育を行いながら改修工事を行う。
- ・ 今後、御経塚保育園、押野保育園について、計画的に園舎の改修を行う予定。

《質疑なし》

3. 中央児童館・椿荘大規模改修について

説明【事務局】 中央児童館・椿荘大規模改修について説明

- ・ 中央児童館・老人福祉センター椿荘について、令和7年度からの改修工事に向け、現在、基本設計を行っている。
- ・ 改修は高齢者と子どもたちの交流スペースを設ける他、災害時には災害ボランティアの活動拠点に活用できるよう老人福祉センター部分に市の社会福祉協議会事務所などを整備する予定。
- ・ 施設の工事期間中は（仮称）ののいち子育てステーションへ移転予定の子育て支援センター菅原を中央児童館の代替として使用することを検討している。

《質疑なし》

4. あわだ総合福祉センターについて

説明【事務局】 あわだ総合福祉センターについて説明

- ・旧栗田保育園跡地に整備をすすめていたあわだ総合福祉センターについて、令和6年9月28日に竣工式が挙行された。
- ・この施設は看護小規模多機能型居宅介護、重症心身型放課後等デイサービス、子育て支援センターとして一時預かり、病児病後児保育を実施予定。

《質疑なし》

5 その他

令和6年度子ども・子育て会議スケジュールについて

説明【事務局】 資料4に基づき説明

《質疑なし》

◎ その他の意見

【委員】

アンケート調査報告書の36ページの間27「これまでの子育ての中で次のようなことがあったり、思ったりしたことはありますか」の質問の主な結果として、イライラして子どもにあたってしまった、感情的な言葉で怒鳴ったというのは実態を反映した数値だと思いましたが、この背景は貧困のみならず、いろんな社会の雰囲気やプレッシャー、一方では楽しみも感じながら、その狭間で一生懸命育児をしている人の思いもくみ取っていただきたいと思いますし、すべての保護者がそれぞれの立場で一生懸命生きているということ、貧困に関連付けてしまうのではなく、大きな視点で全体的に捉えていただければと思います。もう一点は142ページの間16「あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか」という質問で約7割の方が希望があるというのは、ありがたいことで、うれしいことでもあり、私は勇気をいただきました。一方で間17「あなたは、日本の将来は明るいと思いますか」の質問は明るいという回答が2割程度となっています。日本の将来について聞かれてもなかなか明るいと答える人は少ないし、私自身も学生時代に明るいと答えたかというところでは思えないので、この回答だけがすべてと思うのはやめたほうがいいと思いますし、せめて子どもに関しては、私たち大人が責任をもって明るい未来を作っていく、子どもたちも作っていくけれども、先に生きている私たちが希望を持っていなければいけないと思います。子どもに希望を持って語る大人でありたいと思いますし、皆さんもそう思っただけだと心から願います。

6 閉会